



編集・発行

大阪府立刀根山支援学校
本校教育部・訪問教育部

☎06-6853-0200

精神医療センター分教室

☎072-847-6951

阪大病院分教室

☎06-6876-5229

関西医大滝井病院分教室

☎06-6995-5215

関西医大枚方病院分教室

☎072-845-7033

<http://www.osaka-c.ed.jp/toneyama-y/>

「私たちは何のために勉強するのか」

校長 浅田 明子

つい最近、何気なく見ていたTVで、ロボットスーツ「HAL」の開発者である筑波大学大学院教授の山海嘉之教授という方を知りました。

ロボットスーツ「HAL」は、人が動こうとする意志をロボットスーツがキャッチし手足を動かすことができる、文字通り「意思で動かせるロボット」です。脊髄損傷や脳卒中などの患者がリハビリを行うのに有効とされ、世界から熱い注目を浴びています。医療現場は勿論のこと、健常者が着装すると片腕で40kg程度は軽く持ち上げることができることから介護現場や震災現場での活用も期待できるロボットスーツです。

この開発を知った、いくつかの軍需産業からオファーがありましたが、山海教授はすべて断ったそうです。「科学者の研究は人間社会のためにある」「大事なのは出口を見据えて基礎と実際を紡ぐこと。病気や障がいにも苦しむ人々をはじめ、利用者の方々が喜んでくれることを出口にすれば、何をなすべきか、何が問題なのかがみえてきます。」

私自身はこの研究成果そのものにも驚きましたが、教授がいう「人間の喜びのために研究はある」ときっぱりと言い切る表情に、見ていた私の心の中にも暖かい勇気のようなものがわいてきたように思いました。

卒業おめでとう

ご卒業おめでとうございます。中学部の三人は、学習発表会や卒業式の取り組みなど大きな行事を乗り越えることによって、とても成長しましたね。分教室での思い出を胸に、新たな歩みをはじめてください。

小学部の二人は、修学旅行や卒業式の取り組みなど、人数は少ないながらもしっかりと協力して課題に取り組む姿が印象的でした、また児生会の役員としても責任感を持って役割を果たしてくれていましたね。4月からはいよいよ中学生です。中学生としての自覚と信念をしっかりと持ってこれからもがんばってください。

精神医療センター分教室 教職員一同

もう、卒業式です。この日が来たことを、とても実感することができないような、つらい治療の日々。みなさんは、おうちの人やドクター、看護師さん、いろいろな人に支えられながら、お友だちと励まし合い、ここまでがんばってきましたね。先生たちは、その姿を見ています。そのがんばりと、病気に負けない強い心で、新たな一歩を踏み出してくれることを願っています。これからもずっと、応援しています。その気持ちを込めて、

「ご卒業、おめでとうございます。」

阪大病院分教室 教職員一同

ご卒業おめでとうございます。本年度は同じ病院で2名(小学部1名、中学部1名)の卒業生、他の病院で1名(小学部)の卒業生を送り出します。卒業生の中には小学部入学から中学部卒業までの9年間の在籍の生徒もあり、在籍期間の長短はありますが、いろいろな困難や苦労があったことと思います。保護者の方々の暖かい愛情につつまれ、周りの人たちの支えによって随分と成長してきました。進路先は異なりますが、これからの成長も楽しみです。

訪問教育部 教職員一同

中学部の卒業を迎えて

NK君は中学部のムードメーカーで、後輩たちを引っ張ってくれる良い先輩でもありました。総合学習・家庭科・体育・休み時間など、みんなで学習し、楽しく過ごした時間は良い思い出です。そんなNK君の卒業は中学部のみんなにとって寂しい気持ちでいっぱいです。高等部へ進み、自分の目標に向かって更なる成長と活躍を期待しています。

高等部の卒業を迎えて

NT君ご卒業おめでとうございます。中学一年生の時から約六年間、遠距離通学本当によく頑張っていました。桜吹雪の春(黄砂やPM2.5もありましたね)、猛暑の夏、台風の秋、雪舞う冬の中、モノレールで通学する姿や学習・行事活動において何事にも真摯に取り組む姿勢は在校生のお手本でした。卒業しても本校教育部での経験を生かし、活躍する事を期待しています。

本校教育部 教職員一同

本校教育部

卒業の言葉

N.K

あっという間の三年間。今思うととても貴重な経験ができました。日々の授業を大切に、三年間練習してきたウクレレでは文化祭発表につなげることができました。修学旅行で行ったディズニーランドも忘れられません。来年から情報の授業が加わるので頑張ろうと思います。

ついに、卒業する日がやってきました。

N.T

高等部を卒業し、4月からは新しい生活が始まります。今は、楽しみや不安が入り混じったような気持ちです。刀根山での思い出を忘れず、刀根山で学んだことをこれからも生かしていきたいと思います。僕が中学部からの5年半、四條畷市から車とモノレールを使い通学できたのも、学校の先生方・友達・家族・たくさんの人たちの支えがあったからです。僕を支えてくださった皆さんに感謝したいです。

刀根山支援学校に入学し、すばらしい仲間に出会えたことを忘れません。

みなさん、本当にありがとうございました。

文化祭 2月2日(日)

今年のテーマは「Enjoy Happy Festa ☺」でした。午前中の縁日はイントロクイズ「イントネ」と、箱あてクイズ「?BOX」です。滝井分教室の生徒さんも来校！たくさんの方に来ていただき、大いに盛り上がりました。「同じ観客の方が何度も来てくれたことがうれしかった！」という感想が生徒のみんなから出ていました。午後の有志発表では、笑いから感動まで、バラエティ豊かな演目がずらり。目が離せない楽しい発表でした。また、各分教室、地域の中・高、病棟の皆さんの作品も校内に並び、華やかな展示となりました。ありがとうございました。



音楽交流会 2013年12月19日(木)

大阪府立刀根山高校合唱部・弦楽部、大阪府立吹田高校軽音楽部と音楽交流会が行われました。各校練習してきた曲を演奏し、『あとひとつ』『虹』の2曲を合同演奏しました。刀根山支援学校の生徒達は歌やキーボード演奏で参加し、同年代の生徒達と仲良く楽しく合奏出来た交流会となりました。

訪問教育部

今年度訪問教育部では、小学部、中学部の卒業生を送り出します。卒業生保護者からのメッセージを頂きましたので、「卒業おめでとう！」特集として、掲載いたします。

☆☆卒業おめでとう！☆☆

～卒業生保護者からのメッセージ～

卒業を迎えて～M～

小学部 M・R

早いもので、長女Mが十二月で、十二歳になり、今春、小学部を卒業する事となりました。

出生直後に自発呼吸が出ず、仮死状態だったMが、ここまで毎日毎日頑張ってくれた事、又、Mが生まれてきてくれた事で、沢山の素敵な方々に出会えた事に、深く感謝します。

自分しか解らない、家族にしか解らない辛く苦しい思いもありますが、障害を持つ子どもの親にしか経験できない「特別な幸せ」も味わわせてもらっています。

毎日毎日頑張ってくれているMが大好きです。これからもゆっくりゆっくり一緒に成長していこうね。

卒業にあたって

中学部 K・O

週に3回、病室が教室に変わり、にぎやかで楽しい授業は、息子にとって素敵な思い出でいっぱいでした。

団長をつとめた運動会、足をつけると顔を真っ赤にして泣いたゼリー風呂、得意なジャンケンや工作など、大切な思い出をたくさん作ることができました。

これも、重度の障害を持つ息子が学習できる環境を作ってくれた先生方や病院のスタッフの皆様のお陰と心から感謝致します。

高校生になれば新しい出会いや経験がまっているでしょう。

刀根山での体験を活かして、さらに成長してほしいと思います。

精神医療センター分教室

◆◆◆学習発表会◆◆◆

運動会に引き続き、病棟のまっさらの体育館を利用して開催されました。中学生は演者、裏方、効果音等々すべてを中学生が担っての劇をしました。随所に織り込まれた仕掛けや細かい笑いに観客が引き込まれていました。小学生は手旗信号でがんばっていることの発表や歌をバックに分教室での取り組みを紹介しました。最後は楽器演奏を交えての合唱。何回も練習を繰り返しましたが、そのどれよりもすばらしい発表を見せることができました。小学部、中学部両者ともたくさんの拍手を観客からもらい、児童、生徒の顔も皆満足そうな表情でした。



◆◆◆卒業への取り組み◆◆◆

本年度は小学部6年生2名、中学部3年生3名の計5名での取り組みとなりました。最初はなかなか見通しが持てずはっきりしたビジョンを持ってない卒業生たちでしたが、答辞や卒業制作の計画を通して、それぞれにはっきりした卒業のイメージができてきたように思います。在校生は送辞や卒業生へのプレゼント作りを頑張りました。卒業生へ心をこめたメッセージを一生懸命に考えました。今年度は新分教室での初めての卒業式となります。在校生、卒業生ともに思い出深い式となるようがんばっています。



◆◆◆宿泊学習◆◆◆

中学2年生、小学5年生は2月6日、7日に兵庫県姫路市へ行きました。1日目は手柄山公園内の施設で植物や戦争のことを学び、「自然観察の森」にて雪の降る中、自然と触れ合いました。「星の子館」ではなんとおかわりし放題！釜のお米がなくなるまで食べました。2日目は工作館で木工工作。説明を聞いて工具を扱い、素敵な作品が出来上がりました。天候に恵まれず天体観測はできませんでしたが、とても充実した2日間となりました。



阪大病院分教室

この春、卒業式を迎えられるみなさん、ご卒業おめでとうございます。一歩一歩前に進んで行かれますよう、職員一同心から願っています。

お正月遊び

1月17日(金)、新年恒例の行事「お正月遊び」で楽しみました。まずは「凧作り」と「凧あげ」に挑戦しました。梱包用のシートで作ったコンパクトな凧に、それぞれ気に入ったイラストを描き、糸と丸めた新聞紙をつなげて完成です。教室の中で凧あげをして遊びました。



凧あげ



ジャンボすごろく

次は、「すごろく」です。ジャンボなすごろくで日本一周。決められた駅を回りながら点数を稼いでいくルールで、同時に県の名前も覚えられます。気分は、鉄道旅行でした。

休み時間の後は「こままわし大会」。まず、ひもを巻くのが難しいのです。1月に入ってからずっと練習してきました。みんな上手になり、どれだけ長く回せるか競い、みんなで楽しみました。



こままわし



坊主めくり

最後に、「坊主めくり」。先生からのルール説明を聞いた後、二回しました。どちらも土壇場での大逆転でした！

作品展

6階小児科病棟デイルームで子どもたちの作品を展示しました。習字、図工、美術、家庭科などの時間に制作した作品を、病院や保護者の方々をはじめ、多くの人達に鑑賞してもらいました。



関西医大滝井分教室

☆教室紹介☆

年度当初はこれまでと同じく、小児病棟の2階と4階の2教室、病棟外の1教室でスタートした滝井分教室でしたが、2学期から1教室が別の部屋へ変更になりました。滝井病院の新本館建設工事に伴い、これまで使用していた4階の教室が使えなくなりました。替わりとして、本館3階の部屋(3A教室)を使って学習しています。



病棟外教室
澤田先生と保健の学習



3A教室
安食先生と数学の学習



82教室
守口警察の方
と防犯学習

☆本校文化祭に参加しました☆

2月2日(日)、本校の文化祭に病棟外教室の生徒2名と教員1名で参加してきました。

朝10時に京阪門真市駅に集合し、モノレールで本校に向かって、11時ごろ到着しました。本校教育部の佐竹先生や中村先生の温かい歓迎でとてもうれしくなり、勧められたイントロクイズ「イントネ」では景品引換券を大量にゲットすることができました。景品は多種多様。生徒たちはどれを選ぶかと迷っていましたが、景品係の松石前校長先生たちのアドバイスもあって、実用第1でお母さんたちが喜ぶものを中心に選ぶことができました。

午後は発表会を觀賞したのですが、本校の生徒たちのがんばる姿に、滝井の3名はとても感激しました。閉会式で発表した2名の生徒たちの感想は「自分たちもがんばろうと思った。」「来てよかった。」と、とても有意義な1日となりました。

後日談・・・文化祭に参加した2名は、以前に増して、積極的に地域の学校への復学に向けてがんばっています。地域校での定期テストに向けて、意欲的に学習する姿も見られるようになりました。

関西医大枚方分教室

2月の掲示板



2月といえば節分。病棟のエントランスにある掲示板にも鬼が登場しました。小学生はこすりだし絵やちぎり絵で鬼を作りました。中学生は毛筆で「鬼は外」「福は内」。素敵な掲示板ができあがりました。

家庭科の授業より
3学期は編み物をしています。小学生はアンデミルミル、中学生はかぎ針編みでマフラーやコースターの制作をしています。おしゃれな作品の完成が楽しみです！



校外作品展

刀根山支援学校児童生徒作品展が2月18日(火)～2月27日(木)まで蛭池公民館ロビーにて開催されました。本校・訪問・各分教室の児童生徒作品が展示され、壁面を彩りました。子どもたちが楽しんで制作している様子が目に浮かぶ作品の数々です。多くのあたたかい感想をいただきました。

